

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	プロダクトデザイン実習4A	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	開講時間	木曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	白鳥 裕之		実務経験の有無・職種	有・デザイナー	
学習目的					
この科目を受講する学生は、プロダクト製品の提案をします。出題される課題の制約の中で、素材の特性を活かし、ユーザーと使用スペースを設定して、アイデアスケッチから、コンセプトの立案、図面作成、提案モデルの作成、プレゼンテーションを展開します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つの知識、知識を学び、ユーザービリティを満たした提案を行います。デザインをする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、実践的なプロダクトデザインとして、必要となる知識を理解し、素材や加工技術の特性の考慮して、提案の中に展開します。用と美を備えたデザインを考案し、提案モデルを使いプレゼンテーションをします。講師と検証し、改善を繰り返し、デザインの現場で活躍するために必要なデザイン思考を向上させること、提案モデルとプレゼンテーションボードで発表できるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、出題される課題のテーマに沿って、講師からの解説を受けます。製品の特性、使い方から、ユーザーの要求項目、使用シーンに沿った適正なデザインを提案する実習授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「製品デザインの提案力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン提案」を自分自身で実践し、プレゼンテーションできるようになることを目指す。				
注意点	この授業では学生に実際にプロダクトデザインの提案をしてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。今後、現場で求められる専門的な知識と技術の修得を考えた前段階の実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	前提講義		フェルトグッズの事例 誰への設定 ユーザーの要求事項の整理		
2回	フェルトグッズ①		リサーチ コンセプトワーク		
3回	フェルトグッズ②		アイデアスケッチ 検証ラフ作成		
4回	フェルトグッズ③		スチレンボード検証モデル製作		
5回	フェルトグッズ④		フェルトグッズ製作		
6回	フェルトグッズ⑤		フェルトグッズ製作		
7回	前提講義 改善点1		講評会 まとめ		
8回	パーテーション①		パーテーションの事例 ユーザー設定 要求事項の整理		
9回	パーテーション②		アイデアスケッチ 検証ラフ作成		
10回	パーテーション③		三面図の作成		
11回	パーテーション④		スチレンボード検証モデル製作		
12回	パーテーション⑤		モックアップ製作		
13回	パーテーション⑥		モデルの撮影		
14回	パーテーション⑦		プレゼンボード制作 パーテーション		
15回	プレゼンテーション		講評会 全体のまとめ		